



県内 Stage2 実施中！ 新型コロナウイルス感染症

令和3年4月28日

富山県感染症情報センター
(0766-56-5431 直通)
(0766-56-8142 細菌部)
(0766-56-8143 ウイルス部)

感染症発生動向速報

(令和3年第16週分・4月19日～4月25日)

(令和3年第17週分は令和3年5月7日(金)発行予定です。)

《インフォメーション》

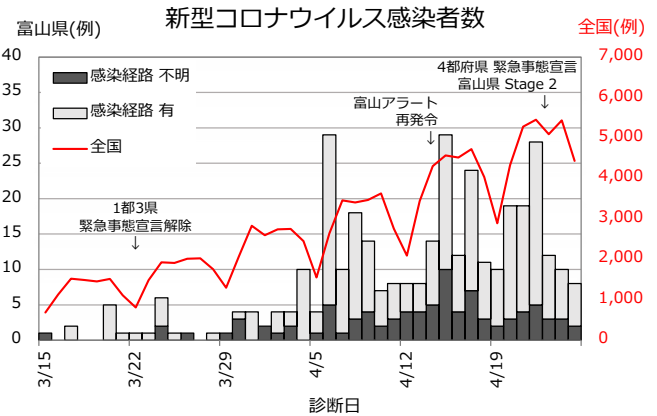
●新型コロナウイルス感染症

国内の新型コロナウイルス感染者数は、4月25日時点で565,069例となり、9,969例の死亡が確認されています。全国の新規感染者数(図;折れ線グラフ)が3月下旬から急増したことを受けて、現時点では10都府県でまん延防止等重点措置が実施されています。しかし、現時点でその効果は明らかではありません。このような事態から、4月23日、4都府県を対象に3度目の緊急事態宣言が発出されました。

県内では、今週106例の新規感染者が報告され、4月25日時点の累積感染者数は1,263例になりました(図;棒グラフ)。

また、従来株に比べて感染性が高いとされる変異株(N501Y)の県内における累積検出数は192例となりました(4月27日時点)。新規感染者数や入院者数の増加が継続していることから、県は4月23日に県内の警戒レベルをStage 2へ引き上げました。Stage 2では、夜間の飲食店の利用(2時間以上)、基本的な感染防止対策が徹底されていない施設や飲食店の利用、感染拡大地域との不要不急の移動の自粛などが求められています。最近の感染事例の特徴として、夜間の飲食店だけではなく、知人宅での会食、家庭内、職場等、さまざまな場面で感染が拡大している傾向があります。ゴールデンウィークに入りますが、感染拡大を防ぐため大人数での集まりを控え、これまで以上に高い緊張感を持って行動するようにしましょう。

発熱等の症状があり医療機関を受診する際には、電話相談のうえ、かかりつけ医等の指示に従ってください。相談する医療機関に迷う場合は、受診・相談センター(076-444-4691;24時間対応)にご連絡ください。



《全数報告の感染症》

- 新型インフルエンザ等感染症 新型コロナウイルス感染症 106件
- 二類感染症 結核 7件 (①第15週診断分:70歳代、男性 ②第15週診断分:90歳代、女性 ③40歳代、女性 ④60歳代、女性 ⑤70歳代、男性 ⑥90歳代、男性 ⑦90歳代、女性)
- 三類感染症 腸管出血性大腸菌感染症 1件 (10歳代、女性、O157、VT1VT2)
- 四類感染症 E型肝炎 1件 (80歳代、男性)
- 五類感染症 梅毒 2件 (①20歳代、女性、早期顕症梅毒Ⅱ期 ②40歳代、男性、無症候)

《定点報告の感染症》

今週の県内上位6疾患

順位	疾病名	定点あたりの数	
		今週(増減)	先週
1位	RSウイルス感染症	5.24 (↑)	3.79
2位	感染性胃腸炎	3.90 (↑)	2.69
3位	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.00 (↓)	1.45
4位	咽頭結膜熱	0.41 (↑)	0.21
5位	突発性発しん	0.21 (↓)	0.62
6位	水痘	0.10 (↓)	0.17

RSウイルス感染症が増えています!
3歳未満の幼児に多く、症状は発熱、鼻汁。2~3割は気管支炎、肺炎に進展。生後6ヵ月以内、または基礎疾患があると重症化しやすく、注意が必要です。

○感染症発生動向調査報告状況（令和3年第16週 令和3年4月19日～令和3年4月25日）

分類	疾患	今週報告分（第16週）							累積報告数（令和3年第1週（1月4日）～）						
		新川	中部	高岡	砺波	富山市	その他※1	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	その他※1	計
新型インフルエンザ等感染症	新型コロナウイルス感染症	5	23	14	2	62		106	33	90	120	31	403	6	683
二類感染症	結核	1			2	2		5	5	3	8	6	15		37
三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症					1		1			2		1		3
四類感染症	E型肝炎	1						1	1				1		2
	つつが虫病								1						1
	レジオネラ症									1	2		1		4
五類感染症	ウイルス性肝炎								1						1
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症										1	1	1		3
	急性脳炎										1				1
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症										1		1		2
	後天性免疫不全症候群								1				1		2
	侵襲性インフルエンザ菌感染症										1				1
	侵襲性肺炎球菌感染症								1		1		5		7
	水痘（入院例）												1		1
	梅毒			1		1		2		1	2		10		13
	破傷風										1				1
定点疾病 (下段は定点当たりの患者数を示す)	インフルエンザ										5				5
	RSウイルス感染症	16	6	52		78		152	50	14	62		382		508
		4.00	2.00	6.50		7.80		5.24							
	咽頭結膜熱		2	2		8		12	17	22	74	1	50		164
			0.67	0.25		0.80		0.41							
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1	1	13	3	11		29	40	22	354	65	118		599
		0.25	0.33	1.63	0.75	1.10		1.00							
	感染性胃腸炎	15	18	14	2	64		113	273	156	211	40	392		1,072
		3.75	6.00	1.75	0.50	6.40		3.90							
	水痘		1			2		3	1	4	13	3	18		39
			0.33			0.20		0.10							
	手足口病			1				1	1		5	1	2		9
				0.13				0.03							
	伝染性紅斑					1		1		1	4	1	6		12
						0.10		0.03							
	突発性発しん	2		2	1	1		6	21	14	57	22	51		165
		0.50		0.25	0.25	0.10		0.21							
ヘルパンギーナ								15						15	
流行性耳下腺炎				1			1	2	2	3	2	2		11	
				0.25			0.03								
流行性角結膜炎									1					1	
細菌性髄膜炎												1		1	
無菌性髄膜炎												1		1	
マイコプラズマ肺炎									1	5	1			7	
インフルエンザによる入院患者（※2）											7			7	

本週報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。

※1 その他は居住地非公表分です。

※2 インフルエンザによる入院患者累計報告数は、令和2年第36週（8月31日）～の集計です。